

山形県保健師長会ニュースレター

令和元年6月17日 第16号 発行：山形県保健師長会

万葉集にある「初春の令月にして 気淑く風和らぎ 梅は鏡前の粉を披き 蘭は珮後の香を薫す」との
文言から引用された新しい元号の「令和」には、『人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ』
という意味が込められています。「厳しい寒さの後に春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように、
一人一人が明日への希望とともにそれぞれの花を大きく咲かせるようなそんな時代でありますように…」
ということだそうです。先輩方から受け継いだこの会の活動が、充実したものでありますように、そして、
次の世代へ大切に引き継いでいくことができますようにと、しみじみ初心に返った5月の10連休でした。
今回のニュースレター第16号は、令和元年度総会並びに研修会のご案内です。

令和元年度山形県保健師長会総会並びに研修会のご案内

令和元年度山形県保健師長会総会並びに研修会を下記の通り開催いたします。
ぜひ多くのご参加をお待ちしております。

【日時】 令和元年7月6日(土) 13:00～16:00

【会場】 山形県高度技術研究開発センター 第1・第2研修室(山形市松栄)

〔総 会〕13:00～13:50

- 平成30年度事業報告・収支決算について
- 令和元年度事業計画(案)・予算(案)について 等

〔研修会〕14:00～16:00

- 講演「効率的・効果的な保健活動の展開のための統括保健師への期待」
講師 国立保健医療科学院 次長 曾根 智史(そね ともふみ)先生

※ 今年度、東京都で開催の「平成31年度保健師中央会議」でもご活躍されている先生です。
今回の研修会では、日頃の活動を効率的・効果的な保健活動としていくため、リーダーと
しての視点や、今からできることなどについてみんなで一緒に理解を深めましょう。

※ 曾根先生が研究分担された「平成30年度地域保健総合推進事業『地方公共団体における
効率的・効果的な保健活動の展開及び計画的な保健師の育成・確保について』総合報告書
(平成31年3月)」もご覧になってください。

- 情報提供「山形県保健師人材育成ガイドライン」について

★今年度の全国保健師長会の研修会等の予定をお知らせします。★★★★★★★★★★★★

【 東北ブロック 】

- ★ 令和元年度全国保健師長会東北ブロック支部長会議
〔会場〕 宮城県仙台市(宮城県医師会館) 〔日時〕 8月10日(土)
- ★ 令和元年度全国保健師長会東北ブロック研修会
〔会場〕 宮城県仙台市(宮城県医師会館) 〔日時〕 8月10日(土)

【 全国保健師長会 】

- ★ 令和元年度全国保健師長研修会
〔会場〕 岡山県 〔時期〕 例年、代議員総会の前日あたりです。
- ★ 第41回全国保健師長会代議員総会
〔会場〕 岡山県岡山市(ピュアリティまきば) 〔日時〕 11月16日(土)



全国保健師長会シンボルマーク

「山形県保健師人材育成ガイドライン」が策定されました。

当会からも作成のためのワーキンググループにご協力いただいた「山形県保健師人材育成ガイドライン」が平成31年3月に策定されました。また、これに合わせて平成29年2月策定の「山形県保健師活動指針」も同時に改訂されました。山形県保健師活動指針は、行政保健師が保健活動において目指す方向性を示すものであり、この活動指針に基づく活動を実践できる保健師を育成するために、「山形県保健師人材育成ガイドライン」は策定されました。このガイドラインは、地域に根差し、ニーズに応じた保健活動を実践できる保健師を育成するための考え方や具体的方法等を整理し、まとめたものです。

各自治体及び保健師が本ガイドラインに基づいた人材育成に取り組み、保健師の資質の向上を図ることで、地域住民の健康の保持増進に寄与することが期待されています。

県全体での健康長寿日本一を目指す取組みが一層推進され、地域住民が生涯にわたって、健やかで心豊かに暮らせる地域社会の実現に向けた保健活動が展開できるよう活用していきましょう。

《地域の健康問題解決のための保健活動の基本的方向性》

- ❖ 地域診断に基づくPDCAサイクルの実施
 - ❖ 個別課題から地域課題への視点及び活動の展開
 - ❖ 予防的介入の重視
 - ❖ 部署横断的な保健活動の連携と協働 等
- ➔ 保健師には、これらの活動を的確に実践できる能力が必要

《人材育成のあり方》

計画的な人材育成体系の構築・適切なジョブローテーション

- ① 個別性に配慮した人材育成
- ② 組織全体で取り組む人材育成
- ③ キャリアラダー※に対応した研修体系の構築

※ キャリア形成のプロセスを示し、個々の保健師の成長発達の目標であり、能力評価の指標

※ 昨年度9月に山形県で取り組んだ「市町村保健師管理者能力育成研修」について、2019年3月の保健師ジャーナルに「県と市町村が連携した保健師人材育成」として掲載されています。

「山形県保健師人材育成ガイドライン」より抜粋

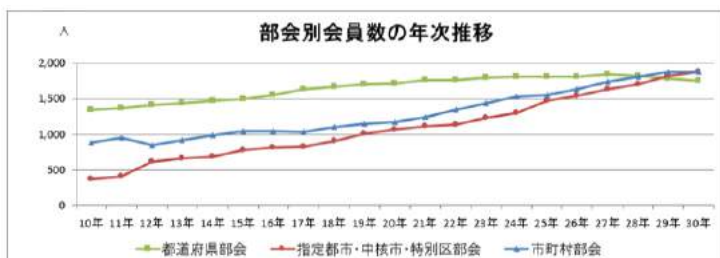
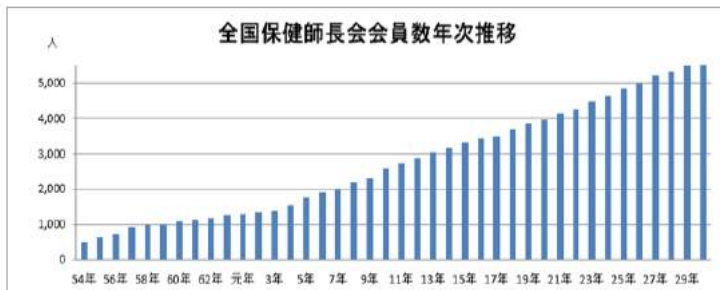


【出典】全国保健師長会ホームページより

詳しくは下記をクリック



全国保健師長会ホームページ
<http://www.nacphn.jp/>
 40周年記念事業のご案内も掲載します



《会の活動》

- ❖ 専門性の高い公衆衛生看護活動を探求しています。
- ❖ 自治体で活動するリーダーの資質向上と連携強化。
- ❖ 全国の先駆的取組等の取組み等のホットな情報が得られます。
 - ブロック・支部活動の強化
 - 研修会等の開催
 - 部会・委員会活動
 - 保健活動に関する調査・研究等
 - 厚生労働省への要望等
 - 災害保健活動の推進

今年度の山形県保健師長会会員182名のうち、全国保健師長会への加入会員は73名（昨年度比+2名）です。毎年、特に市町村のみなさんの加入が少しずつですが増加しています。この会は、地域の公衆衛生分野の専門職として、地域住民の健康保持増進に寄与するため、全国の保健師リーダーが一丸となって活動を展開しています。

ぜひ、会の趣旨をご理解いただき、多くのご加入をお願いします。